

県下の交通事故 (12月5日現在)

区分 年別	発生件数	死者	傷者
平成2年	4,727件	108人	6,234人
〃3年	4,736件	117人	6,383人
比較	+0.2%	+8.3%	+2.4%



◇ 第94号 ◇
発行所
〒400 甲府市丸の内一丁目9-11
県民会館2階
財団法人 山梨県交通安全協会
TEL 甲府 (0552) 32-4682
(0552) 37-7827



年末年始交通事故防止県民運動

12月10日～1月10日

家庭で、職場で、地域で
事故防止話し合い

運動の重点

- 1、飲酒運転の絶滅
- 2、飲酒運転の取締り強化

- 1、主な推進事項
- 2、自転車の正しい乗り方
- 3、暴走族の追放
- 4、シートベルト・ヘルメットの正しい着用の徹底

- 1、子供と高齢者の交通事故防止
- 2、正しい道路横断方法の指導と高齢運転者に対する着用の徹底
- 3、若年運転者の無謀運転の追放

年末年始は、交通が混雑し、あわただしさも加わるほか、飲酒の機会も多くなり、交通事故の多発が懸念されます。このため広く県民に交通安全知識を普及し、習慣づけることにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的として、県交通安全対策本部と県交通対策推進協議会の主唱で「年末年始の交通事故防止県民運動」が十二月十日から平成四年一月十日まで実施されます。県内の交通事故死者は、既に百十人を超え、「一桁台抑止の願いも空しく、十年連続百人突破の最悪の状況で推移しています。これ以上死者を出さないために、県民一人ひとりがこの運動に真剣に取り組み、事故防止に努めましょう。

無事故で年末笑顔で新年

平成4年 交通安全年間スローガン

一最優秀作一

歩行者・自転車利用者向け
ドアしめてベルトをしめて 気をしめて
とび出す一歩に とびつく危険
こどもからの募集

はしらない！ ぼくもきゅうには とまれない

- 1、違法駐車の締め出しの醸成
- 2、危険性・迷惑性の高い非着用者に対する着用指導と取締りの強化
- 3、職場ぐるみによる「マイカー運動」「マイカー徹底」の推進
- 4、その他の主な重要推進事項
- 5、地域の実情に即した住民参加による交通安全の醸成
- 6、違法駐車の指導取締りの徹底

- 1、違法駐車の締め出しの醸成
- 2、危険性・迷惑性の高い非着用者に対する着用指導と取締りの強化
- 3、職場ぐるみによる「マイカー運動」「マイカー徹底」の推進
- 4、その他の主な重要推進事項
- 5、地域の実情に即した住民参加による交通安全の醸成
- 6、違法駐車の指導取締りの徹底



▲ 片側三車線

ぱいに、

黄線で

網目模様がえ

かれていた。中

華民国高雄市

中心街の光景で

ある。ガイド曰く「ここで

は、車は停まつてはいけな

い」という道路標示とのこ

と。信号が変わる。待つて

いた車が一斉に直進・右左

折を始める。交差点の中で

最近この附近の渋滞振りは

ヒドイの一言につきます。

バス停の前で、

山梨県日華親善協会第

五次訪華団の一員として参

加した筆者の見聞記の一駒

です。▲これを見た瞬間私

の頭の中に、毎朝通勤する

甲府湯村街道の温泉入口交

差点の光景が浮かびました。

たやらという毎朝のライ

ラ光景です。▲問題は、温

泉入口交差点、青信号で一

気に入れる状態ではありま

せん。にも拘らず強引に前

突事故など、違法駐車が現れていますが、残念ながら

車社会の進展とともに、

交通事故など、違法駐車が現れていますが、残念ながら

突事故など、違法駐車が現れていますが、残念ながら

車社会の進展とともに、

交通事故など、違法駐車が現れていますが、残念ながら

交通事故ゼロの願いをこめて、平成四年に使用する「交通安全年間スローガン」が決まりました。三部門の最優秀作品（1面掲載）と総務庁長官賞、警察庁長官賞、文部大臣奨励賞及び佳作は次のとおりです。このスローガンを行動に移し、交通安全運動を大きく前進させたいものです。

◆運転者（同乗者を含む） 向け
いい顔に見えます 笑顔でゆずる人

◆歩行者・自転車利用者に対するもの
その横断 車の速さを忘れてる

◆子どもからの募集
かけちゃだめ 車の前後 まがりかど

◆警察庁長官賞
駐車した その一台に泣く百台

◆運転者（同乗者を含む） 向け
歩行者・自転車利用者に対するもの
引いた手のぬくみで教える 横断ルール

◆お出そう すぐに飛び出す あせり虫

◆こどもからの募集
やめようね よこいちらのランドセル

◆文部大臣奨励賞
佳作（全日本交通安全協会会長賞）
（山梨県）

◆運転者（同乗者を含む） 向け
支えます 軽いベルトが命の重み

◆安全運転 注意とベルトのたすきかけ
スピーデが優しい貴方を鬼にする

◆歩行者・自転車利用者に対するもの
ハッ！としてホッとするより待つゆとり
まだ若い無理な横断事故を呼ぶ
まがりかど見ます 待ちます 止まります
反射材 つけて夜道の自己主張
こどもからの募集
夜の道 忍者になっている無灯火自転車
とび出してひやっと汗かく 曲がり角
いそでもかわりばんこのあかしんごう
おとととあわてる心は 事故のもと

平成四年交通安全年間スローガン

富樫チト君(忍野)が優勝

一地区代表17人が
交通安全に熱い訴え



第33回山梨県中学生交通安全弁論大会

第三十三回山梨県中学生交通安全弁論大会（県交通安全協会、交通山梨新聞社主催）が十月三十日、甲府市和戸町リバース「和戸」で開催されました。

大会には、県内十五地区

の予選大会で代表となつた

十七人の中学生が出席し、

自分や家族さらには友人の事

故例や日常生活を通して

ことなど、七分の持ち時

間で、中学生の立場から真

剣に訴え、参会者に強い感

動を与えました。本年は論

旨や表現力に向上が目立つ

ていました。

審査の結果「甘えは許さ

れない」（別掲）と題して

交通安全の心構えを訴えた

忍野中三年、富樫チト君が

優勝し、優勝旗と知事賞を

受けました。

他の受賞者は次のとおり

です。

「準優勝」

（山梨北中）秋山沙和紀

（都留第一中）三木環奈

（大月東中）深沢寿樹

（増穂中）秋山佐矢加

（南部中）齊藤めぐみ

（市川南中）長谷川ふく

み（韭崎東中）横内樹里

（柳井中）土橋恵香（甲

府南中）

（鶴田まりも）（西桂中）

（泉中）県警察本

部長賞

河野あづさ（石

五%）

と若干向上しました。

しかし、九月一日以降、

県内における交通事故によ

る死者数は九月中二十人、

十一月九日現在五人と急激に

增加了。

この二千五人につ

いてシートベルトの着用状

況をみると、着用義務者

二十一人中（着用不明三人）

着用者は四人で、着用率二

十二・二%と依然低調であ

ります。また調査によりま

すと、車種別では貨物自動

車の運転者の着用率五十三・

八十七・二%、女性九十・

五%）

と若干向上しました。

しかし、九月一日以降、

県内における交通事故によ

る死者数は九月中二十人、

十一月九日現在五人と急激に

增加了。

この二千五人につ

いてシートベルトの着用状

況をみると、着用義務者

二十一人中（着用不明三人）

着用者は四人で、着用率二

十二・二%と依然低調であ

ります。また調査によりま

すと、車種別では貨物自動

車の運転者の着用率五十三・

八十七・二%、女性九十・

五%）

と若干向上しました。

しかし、九月一日以降、

県内における交通事故によ

る死者数は九月中二十人、

十一月九日現在五人と急激に

增加了。

この二千五人につ

いてシートベルトの着用状

況をみると、着用義務者

二十一人中（着用不明三人）

着用者は四人で、着用率二

十二・二%と依然低調であ

ります。また調査によりま

すと、車種別では貨物自動

車の運転者の着用率五十三・

八十七・二%、女性九十・

五%）

と若干向上しました。

しかし、九月一日以降、

県内における交通事故によ

る死者数は九月中二十人、

十一月九日現在五人と急激に

增加了。

この二千五人につ

いてシートベルトの着用状

況をみると、着用義務者

二十一人中（着用不明三人）

着用者は四人で、着用率二

十二・二%と依然低調であ

ります。また調査によりま

すと、車種別では貨物自動

車の運転者の着用率五十三・

八十七・二%、女性九十・

五%）

と若干向上しました。

しかし、九月一日以降、

県内における交通事故によ

る死者数は九月中二十人、

十一月九日現在五人と急激に

增加了。

この二千五人につ

いてシートベルトの着用状

況をみると、着用義務者

二十一人中（着用不明三人）

着用者は四人で、着用率二

十二・二%と依然低調であ

ります。また調査によりま

すと、車種別では貨物自動

車の運転者の着用率五十三・

八十七・二%、女性九十・

五%）

と若干向上しました。

しかし、九月一日以降、

県内における交通事故によ

る死者数は九月中二十人、

十一月九日現在五人と急激に

增加了。

この二千五人につ

いてシートベルトの着用状

況をみると、着用義務者

二十一人中（着用不明三人）

着用者は四人で、着用率二

十二・二%と依然低調であ

ります。また調査によりま

すと、車種別では貨物自動

車の運転者の着用率五十三・

八十七・二%、女性九十・

五%）

と若干向上しました。

しかし、九月一日以降、

県内における交通事故によ

る死者数は九月中二十人、

十一月九日現在五人と急激に

增加了。

この二千五人につ

いてシートベルトの着用状

況をみると、着用義務者

二十一人中（着用不明三人）

着用者は四人で、着用率二

十二・二%と依然低調であ

ります。また調査によりま

すと、車種別では貨物自動

車の運転者の着用率五十三・

八十七・二%、女性九十・

五%）

と若干向上しました。

<p



供養と祈願 交通死亡事故現場で（韮崎）



地道な奉仕活動（塩山）



小学生「自転車安全リーダー」研修会（都留）



“交通安全”幼いうちから身につけよう（富士吉田）



みんなで訴える交通安全（大月）

地区だより

—平成3年秋の交通安全運動—

秋の交通安全運動は9月二十一日から三十日までの十日間全国一斉に行われました。高齢者交通安全旬間に引き続いて、高齢者や若者の交通事故防止を中心に運動が行われたのですが、期間中の県内の交通事故は発生八三件、死者三人、傷者一〇二人で、昨年の運動期間中と比べると、件数も減少しました。死傷者数とともに減少しました。事故の内容をみると、件数が大多数（六九件、八四%）で、相変わらず追突、出会い頭事故が多く、また十六歳から二十四歳までの若者によつて約四十%近い事故が起こされているが目立つます。運動期間中の各地区紹介します。運動期間中の各地区安協の活動の一端を写真でご紹介します。

“黙っちゃいられない”
交通安全に一役かった案山子さん（上野原）

真剣に話し合う高齢者の交通安全（南部）



駅頭で安全広報（石和）



行楽地に向かう車に街頭指導（日下部）



効果的！料金所近くで街頭指導（甲府）



ジックリ勉強、シッカリ指導 交通安全講習会（南甲府）



高齢者の事故防止願い…関係者の行脚（小笠原）



町民こぞって交通安全の誓い（長坂）



あせらず、急がず、ゆとりをもとう（鰐沢）



一日婦人警察官交通安全を訴える（市川）